

顕微紫外可視近赤外分光光度計（顕微分光光度計）

2024年4月改定

1. 装置の概要

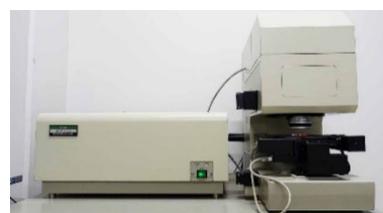
分光光度計は、様々な波長の光（電磁波）を試料に照射し、その吸収スペクトルを測定することで様々な試料の定性定量分析や物性評価が可能です。

MSV-370 は、カセグレイン方式の集光鏡・対物鏡を採用し、紫外～近赤外領域の広範囲にわたって透過法または反射法を用いた顕微分光測定が可能です。

2. 装置の紹介

顕微紫外可視近赤外分光光度計 MSV-370（日本分光）

主な仕様	<ul style="list-style-type: none">光源：D₂ランプ・WIランプ測定波長範囲：250～2000 nm測光モード：吸光度、透過率、反射率顕微鏡：カセグレイン式16倍対物鏡アパーチャサイズ：最小10×10 μm
付属設備	自動XYZステージ、偏光子（手動挿入）
特徴	時間変化測定やマッピング測定も可能
設置場所	CIRIC 3階 分光分析室（1）



3. 利用形態（利：利用者測定／依：依頼測定）

機種	学内利用	学外学術利用	学外一般利用
MSV-370	利	利	利

4. 利用ライセンス

種類	利用範囲	対象者（学外も同様）	取得方法
基本ライセンス	本装置を用いた顕微分光測定（主に固体試料を使用）	学部4年生以上の学生 または教職員	講習受講と実技試験

5. 利用料金

（1）学内利用

機種	料金項目	金額／単位	備考
MSV-370	基本利用料	400円／0.5 hr	最短利用時間は1 hr。
共通	ライセンス試験料	600円／0.5 hr	ライセンス試験時に加算。
	測定サポート料	600円／0.5 hr	管理担当者立会時に加算。

(2) 学外学術利用

機種	料金項目	金額／単位	備考
MSV-370	基本利用料	600 円／0.5 hr	最短利用時間は 1 hr。
共通	ライセンス試験料	900 円／0.5 hr	ライセンス試験時に加算。
	測定サポート料	900 円／0.5 hr	管理担当者立会時に加算。

(3) 学外一般利用

機種	料金項目	金額／単位	備考
MSV-370	基本利用料	2,000 円／0.5 hr	最短利用時間は 1 hr。
共通	ライセンス試験料	3,000 円／0.5 hr	ライセンス試験時に加算。
	測定サポート料	3,000 円／0.5 hr	管理担当者立会時に加算。

6. 注意事項

- ・装置の予約は「大学連携研究設備ネットワーク」の予約課金システムで行って下さい。

7. 機器管理者等

【機器管理者（主任）】 梶 飛雄真（共用機器センター）

【機器管理者】 大場 友則（理学研究院）

荷堂 清香（共用機器センター）